

北海道新幹線が運ぶまちの未来！

北海道新幹線新小樽（仮称）駅周辺まちづくり計画を策定



北海道新幹線（H5系）
写真：JR北海道提供

北海道新幹線は、平成42年度に札幌までの開業が予定されており、小樽にも新駅が設置される予定です。市では、新幹線の整備効果を地域全体に波及させるため、29年3月にまちづくり計画を策定しましたので、その概要などについてお知らせします。

新幹線がもたらす効果

昨年3月に新青森・新函館北斗間が開業し、函館市を中心とした道南地域では、観光客の増加により、にぎわいを見せています。

全国の各都市と高速ネットワークで結ばれることにより、交流人口の増大や新たな経済交流・周遊観光による地域経済の活性化など、さまざまな効果が期待されます。

これらの効果を地域全体に生かすためには、新小樽（仮称）駅が単なる通過点とならないよう、立ち寄りたくなる、魅力あるまちづくりを進めていくことが必要です。

新幹線とまちづくり

新幹線効果を最大限に生かすため、新小樽（仮称）駅周辺地域の整備に向けた指針や官民が連携した取り組みなどを示した「北海道新幹線新小樽（仮称）駅周辺まちづくり計画」を策定しました。

乗り合いタクシーの運行などが考えられます。

また、新幹線に係る施設整備を最大限活用したソフト対策としては、国内外からの観光客の誘致促進や新駅周辺の魅力づくりなどを推進していくこととしています。

今後の取り組み

【アクションプランの作成と実践】

新幹線開業に向けて、今後は市民や事業者、行政などによる官民連携組織を立ち上げ、二次交通対策やソフト対策について、具体的な取り組みの可能性を検討し、アクションプランを作成します。

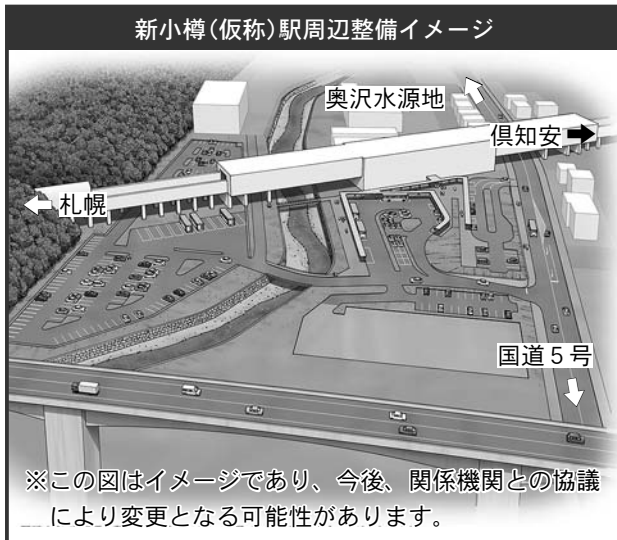
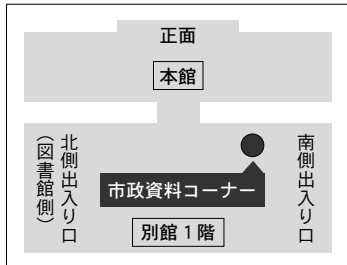
また、このプランに基づき事業を推進するとともに、市民や事業者の意向把握に努め、定期的に取り組みの見直しも検討します。

【広域連携による推進】

同様に、北後志地域等の市町村や民間で構成する広域連携組織の設立も検討し、広域観光の連携方策や二次交通対策などについてのアクションプランを作成し、実践してい

縦覧しています

「北海道新幹線（新青森・札幌間）環境影響評価書（北海道）平成14年1月」に基づく事後調査等報告書 新函館北斗・札幌間（平成28年度）を縦覧しています。
 とき 8月28日(月)まで
 ところ 市政資料コーナー（市役所別館1階）
 ☑独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構北海道新幹線建設局 ☎011(231) 3456



※この図はイメージであり、今後、関係機関との協議により変更となる可能性があります。

